

「調査等を改善するための恒常的な仕組み」 に基づく「調査等リスト」の更新及び活用 について

令和8年2月17日

総務省政策統括官（統計制度担当）

各府省等が行う調査等を改善するための恒常的な仕組み

経緯

国民や地方公共団体から疑問の声



- ・政府が実施している各種調査の内容が重複している
- ・非効率で回答負担が重い調査がある（オンライン回答できない、集計が必要なデータをWordで報告、調査内容が社会経済の変化を反映していない）

調査の棚卸し結果



- ・調査事項の重複 1 0 5 件（→継続調査 2 7 件は重複廃除。1 回限り調査等 7 8 件）
- ・回答負担の軽減が必要 3 3 3 件（→オンライン回答導入等の改善）

調査等を改善するための恒常的な仕組み（令和 3 年 9 月内閣官房行革事務局・統計改革推進室）

- ・統計調査の取組を他の調査等にも拡大



統計調査の取組	他の調査等への拡大
統計調査相互の重複確認	調査等リストを毎年更新。統計調査以外も含めた公的調査相互の重複確認を継続的に実施
報告負担の軽減	オンライン回答、過大な標本規模や調査事項の見直し
利活用しやすい結果公表	機械可読データ形式、データフォーマットの統一、e-Statによる公表

➡ 年度明けに調査等リストの更新と取組のフォローアップを予定（次回から総務省が担当）
各府省においては、政策立案を推進する上で、他府省所管のデータも含めたデータの所在確認に調査等リストを活用